

夕暮れ時の交通事故を防ぐには？

過去5年間、県内の人身事故を日没後1時間と昼間1時間あたりの件数を比べた結果、特に11月、12月は昼間の約2倍発生しています。

また、夕暮れ時は、1日の中でも歩行者が死亡する交通事故が多く発生している危険な時間帯です。この時間帯の事故を防ぐためには、どうすればよいでしょうか？

歩行者



反射材の着用！

① 道路横断に関する交通ルールを守りましょう。

- ★ 横断歩道が近くにあるところでは、横断歩道を横断しましょう。
- ★ 道路を斜めに横断しないようにしましょう。
→ 横断距離、時間が長くなり、危険です。
- ★ 進行中や停車中の自動車など車両の直前や直後を横断しないようにしましょう。
→ 左右の見通しがきかず危険です。

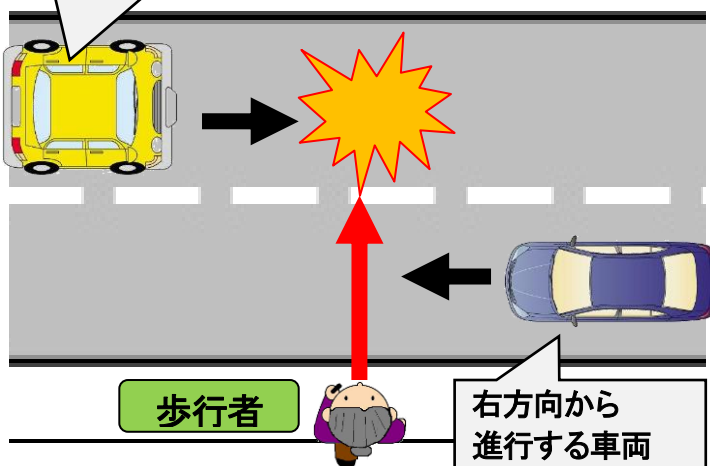
② 明るい服装で出かけましょう。

- ★ 夕暮れ時の交通事故に巻き込まれないためには、歩行者自身がドライバーから見えやすくする工夫が大切です。
- ★ 黒など濃い色の服装は、ドライバーから見えにくいので事故を防ぐためには、白や黄色の明るい色の服装で出かけましょう。



左方向から進行する車両

③ 横断する時は、左からの車に注意！



歩行者

右方向から進行する車両

- ★ 道路横断中の死亡事故は、歩行者が横断中に左方向から進行してくる車両と衝突する事故が多く、特に夜間に高齢者がこのような事故に遭うことが多くなっています。
- ★ 信号機のない場所を横断する場合、車が近づいていないか必ず左右を確認し、余裕を持って渡るようにしましょう。

横断する時、特に左の再確認を！



ドライバー



① 横断歩道に関する交通ルールを守りましょう。

横断歩道は歩行者優先！

★ 横断歩道は歩行者が優先です。

ドライバーは、横断歩道を横断しようとする、または、横断している歩行者がいる場合は、歩行者を優先しなくてはなりません。

★ 横断歩道に接近する場合

車両等は、横断歩道に接近する場合、その横断歩道の直前(停止線の直前)で停止できるような速度で進行しなければなりません。

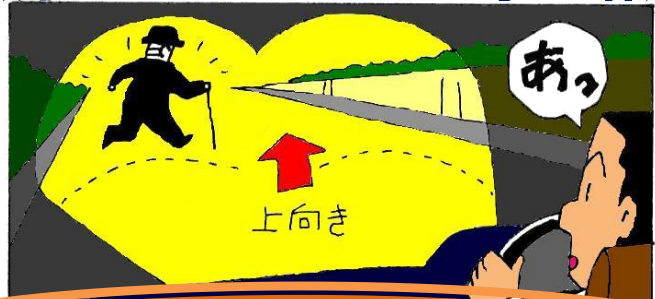
(横断歩道を通る際に、その進路の前方を横断しようとする歩行者がいないことが明らかな場合を除く。)

★ 横断歩行者がいる場合の一時停止

車両等は、その進路の前方の横断歩道を横断し、または横断しようとする歩行者があるときは、その横断歩道の前で一時停止し、かつ、その歩行者の通行を妨げないようにしなければなりません。



② 早めのライト(前照灯)点灯とハイビームの上手な活用！



車の存在を周囲に知らせましょう！

★ 夕暮れ時は人の目が暗さの変化に慣れず、ドライバーは歩行者や自転車などの発見が遅れ、事故が発生しやすくなります。

早めにライト(前照灯)を点灯し、上手にハイビームを活用して周囲の危険をいち早く見つけましょう。

警察官や銀行員を名乗り「カード(又は現金)を預かります」と言われたら

高齢者をねらう
詐欺の手口！

犯人は、警察官や銀行員の振りをして
現金やキャッシュカードを自宅まで取りに来ます。

詐欺です！

ご家族やお知り合いに高齢の方がおられたら、教えてあげてください！

施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp